

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

レビュー項目 (事業名)	28 地域防災力のレベルアップ (消防団活性化支援事業)				部(局)	危機管理部
					所管課	消防保安課
					担当班	消防班
					連絡先	3432
開始年度	H27	終了年度	-	関連計画等	-	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					
実施主体等	県					
事業目的	消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図り、地域の安全に資することを目的とした「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の趣旨を踏まえ、住民主体の防災活動への消防団の積極的な参画を促し、市町、県消防協会の連携の下、消防団活動の充実を図る。					
事業概要	○消防団、自主防災組織、企業等連携訓練及び消防団加入促進等の支援 消防団員が主体的役割を担いながら住民が参加する防災活動への積極的に参画できるように、市町の取組に対して補助(県1/2・市町1/2、補助上限100千円)					
これまでの改善状況	R4: 補助額の増(50千円→100千円) 補助メニューの拡大(消防団員の加入促進に対する事業)					
業務フロー	申請(市町) → 受付・審査(県) → 交付(県)					

区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	400千円	300千円	3,300千円	1,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金				
		委託料				
		補助金・交付金	400千円	300千円	3,300千円	1,000千円
		貸付金				
		その他				
	(財源内訳)	(国庫)				
		(特定)				
		(起債)				
		(一般財源)	(400千円)	(300千円)	(3,300千円)	(1,000千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		3,800千円	2,900千円	3,300千円	1,000千円
	執行率((①/②)×100)		10.5%	10.3%	100.0%	100.0%
人件費③ (a+b+c)		従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	
		2,489千円	2,468千円	2,586千円	2,586千円	
職員給与費 a		2,156千円	2,131千円	2,253千円	2,249千円	
賞与引当金繰入額 b		174千円	172千円	174千円	172千円	
退職手当引当金繰入額 c		159千円	165千円	159千円	165千円	
総コスト(①+③)		2,889千円	2,768千円	5,886千円	3,586千円	

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
成果指標(アウトカム指標①) 統合後の事業にあわせて設定	目標					
	実績(見込)					
	(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
成果指標(アウトカム指標②)	目標					
	実績(見込)					
	(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
成果指標(アウトカム指標③)	目標					
	実績(見込)					
	(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
活動指標(アウトプット指標①) 消防団活性化支援事業活用消防団数	目標	62	62	31	10	
	実績(見込)	8	6	(17)	(10)	
	(単位当たりコスト)	(361千円)	(461千円)	(346千円)	(359千円)	
	達成率(見込)	12.9%	9.7%	(54.8%)	(100.0%)	
活動指標(アウトプット指標②)	目標					
	実績(見込)					
	(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
活動指標(アウトプット指標③)	目標					
	実績(見込)					
	(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
終期設定	有 () . 無					
改善基準						
自	評価の視点	評価		目標に対する達成状況(総合的評価)		
	<p>○有効性(評価指標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など 	<p>従前は訓練に要する経費のみが補助対象だったが、入団促進事業も補助対象に加えたことにより、より市町のニーズを踏まえた事業となっている。</p>		<p>市町に随伴を求めていることから、事業の申請が少なかったものの、R4から補助要件を拡大し、訓練に係る経費のほか、入団促進事業に係る経費を補助要件に加えたこともあり、徐々に件数が増加している。</p>		
己	<p>○効率性(最小のコストで最大の効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫を行っているか など 	<p>市町に受益者負担として事業費の1/2の随伴を求めるなど効率性に取り組んでいる。</p>				
	課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 【課題】 ①主体となる消防団員の減少 ②防災リーダーの活躍の場がなく、有効活用できていない 【方向性】 ○防災リーダーの活用方法、活動フィールドの拡大を検討 (消防団を補う新たな役割の検討、防災活動支援対象団体の範囲見直しなど)				
外部委員会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・防災リーダー育成の講座について、ターゲット層や何を教えるのかを再整理した上で、統合すべき。 ・地域防災力を高めるための事業は、裾野を広げる取組と防災リーダー育成事業の2層がある。事業の再構築にあたっては、これらの棲み分けは適切に行われたい。 ・各地域で活躍している人材の事例を分析し、できてない事例では何がボトルネックとなっているのか把握すべき。 					
改善結果						
防災リーダーのさらなる活躍の場の拡大や新たな活躍の場を創設するため、従前の支援対象は消防団が実施する訓練に限っていたが、防災リーダーを中心とする自主防災組織が実施する地域防災活動を支援対象に追加する。						